



## 2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 サイバーステップ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3810 URL <https://corp.cyberstep.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 類  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 緒方 淳一 TEL 0570-032-085  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	3,066	△47.6	△853	-	△868	-	△936	-
2022年5月期第3四半期	5,849	△38.0	△1,278	-	△1,327	-	△1,791	-

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 △913百万円 (-%) 2022年5月期第3四半期 △1,778百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	△87.10	-
2022年5月期第3四半期	△225.59	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	3,424	1,998	57.3	181.52
2022年5月期	2,831	2,025	70.1	216.66

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 1,961百万円 2022年5月期 1,986百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年5月期	-	0.00	-	-	-
2023年5月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 現時点では、2023年5月期の配当予想は未定であります。

### 3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 2023年5月期の連結業績予想については、現段階で合理的な業績予想の算定が困難なことから未定といたします。今後、適正かつ合理的な予想が算出可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期3Q	10,803,742株	2022年5月期	9,166,901株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	219株	2022年5月期	219株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期3Q	10,748,289株	2022年5月期3Q	7,942,653株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲げられる科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6
(重要な後発事象)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染収束の傾向により、行動制限が徐々に緩和され経済活動の正常化が進んだことにより、個人消費にも回復基調がみられました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による世界的な資源価格の高騰やインフレ、金利上昇による経済活動への影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するオンラインゲーム市場においては、スマートフォンやタブレット等、情報端末の普及が減速したことに伴うユーザー数の鈍化に懸念はあるものの、海外向けサービスの堅調な成長が見受けられ、グローバルにユーザーの獲得競争が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループでは引き続き既存サービスの拡大及び収益性の向上に注力すると共に、培ってきた開発技術を応用した新規サービスの開発を進めてまいりました。

現在、主力事業である「オンラインクレーンゲーム・トレバ」（以下、「トレバ」）におきましては、定期的なシステムの点検および強化による操作の安定性を向上し、より使いやすさの面でアップデートを実施してきた一方で、継続的なキャンペーンおよびイベントの開催や効果的な広告媒体の活用を実施すると共に常に新しいプライズアイテムを追加することでより満足いただけるサービスを目指した取り組みに努めてまいりました。売上高におきましては、主に「トレバ」において年末年始イベントを含めた国内外向けのプロモーション活動等における季節要因によって、一時的にプレイユーザー数と共に回復傾向となりましたが、プロモーション活動費用の増加や新規タイトル開発期間の長期化による影響に伴ってコスト面においては負担増となりました。今後においては早期に事業の効率化を進めることでより一層のコスト削減を目指してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は3,066百万円となり、前年同期に比べ、47.6%の減収となりました。

利益面につきましては、営業損失853百万円（前年同期は営業損失1,278百万円）、経常損失868百万円（前年同期は経常損失1,327百万円）、税金等調整前四半期純損失909百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失1,748百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失936百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,791百万円）となりました。

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントごとの記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ593百万円増加し、3,424百万円となりました。これは主に、現金及び預金515百万円の増加が生じたことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ619百万円増加し、1,426百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金285百万円、社債400百万円の増加が生じたことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少し、1,998百万円となりました。これは主に、第三者割当による増資や新株予約権の行使による増資によって、資本金444百万円及び資本剰余金444百万円の増加があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金936百万円の減少が生じたことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想については、現段階で合理的な業績予想の算定が困難なことから引き続き未定といたします。今後、適正かつ合理的な予想が算出可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,674	2,189
売掛金	324	352
貯蔵品	373	257
その他	227	167
貸倒引当金	△25	△26
流動資産合計	2,573	2,940
固定資産		
有形固定資産	0	0
投資その他の資産		
その他	263	494
貸倒引当金	△5	△10
投資その他の資産合計	258	484
固定資産合計	258	484
資産合計	2,831	3,424
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1	1
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	3	288
未払金	291	265
未払費用	166	147
未払法人税等	22	30
その他	95	69
流動負債合計	779	1,001
固定負債		
長期借入金	26	24
社債	-	400
固定負債合計	26	424
負債合計	806	1,426
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,748	3,192
資本剰余金	1,813	2,257
利益剰余金	△2,591	△3,527
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,969	1,921
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16	39
その他の包括利益累計額合計	16	39
新株予約権	38	37
純資産合計	2,025	1,998
負債純資産合計	2,831	3,424

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	5,849	3,066
売上原価	1,570	1,073
売上総利益	4,279	1,993
販売費及び一般管理費	5,558	2,847
営業損失(△)	△1,278	△853
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	42
受取賃貸料	35	0
出資分配金	0	0
その他	2	16
営業外収益合計	40	60
営業外費用		
支払利息	0	16
株式交付費	-	7
外国源泉税	26	33
為替差損	12	-
賃貸費用	37	-
その他	12	17
営業外費用合計	89	75
経常損失(△)	△1,327	△868
特別利益		
固定資産売却益	1	3
新株予約権戻入益	3	0
事業譲渡益	-	23
特別利益合計	5	27
特別損失		
固定資産除却損	15	-
減損損失	164	25
関係会社株式評価損	16	-
投資有価証券評価損	-	42
事業構造改善費用	229	-
特別損失合計	426	68
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,748	△909
法人税、住民税及び事業税	43	26
法人税等合計	43	26
四半期純損失(△)	△1,791	△936
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,791	△936

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純損失(△)	△1,791	△936
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13	23
その他の包括利益合計	13	23
四半期包括利益	△1,778	△913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,778	△913
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第35回新株予約権（行使価額修正条項付）の行使に伴い、資本金が219百万円、資本剰余金が219百万円それぞれ増加しております。

また、当社は2022年6月14日付で、ロードランナー株式会社、株式会社Blue Rock及びAsset Management Suite株式会社から第三者割当増資の払込みを受けたことにより、当第3四半期連結累計期間において資本金が224百万円、資本剰余金が224百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,192百万円、資本剰余金が2,257百万円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の事業に与える影響の仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年6月1日 至 2022年2月28日）

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2023年2月28日）

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使による増資)

当第3四半期連結会計期間末の翌日以降、2023年4月10日までの間に第37回新株予約権（行使価額修正条項付）の一部の権利行使が行われました。当該新株予約権の行使により発行した株式の概要は下記のとおりであります。

① 行使新株予約権個数	1,750個
② 増加した資本金の額	52百万円
③ 増加した資本準備金の額	52百万円
④ 増加した株式の種類及び株数	普通株式 175,000株



### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して多額の営業損失を計上し、当第3四半期連結累計期間において営業損失853百万円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当第3四半期連結会計期間末の現金及び預金残高は2,189百万円あり、当面の運転資金は十分賄える状況のため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

当社グループは、新規タイトルの早期収益化および既存タイトルの収益改善並びに継続したコスト削減に取り組むことにより、当該継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況の早期解消に努めてまいります。